

諏訪神社古墳(藤岡市)

ここは諏訪神社



正面前方が諏訪神社社殿で諏訪古墳の上に建っている



諏訪古墳/前方後円墳/正面は前方部で社殿の背後が後円部/右手が南方向で後円部の石室は南西面に開口している



諏訪神社の由緒書き/境内には諏訪古墳の他、陪塚とされる諏訪神社北古墳、藤岡地区14号墳の二つの円墳が所在する



左手に進むと池があり、橋が架かっている/この池は周堀の名残りである



北側から墳丘の全景を見る/右手が前方部、左手が後円部/手前の池が周堀の名残り



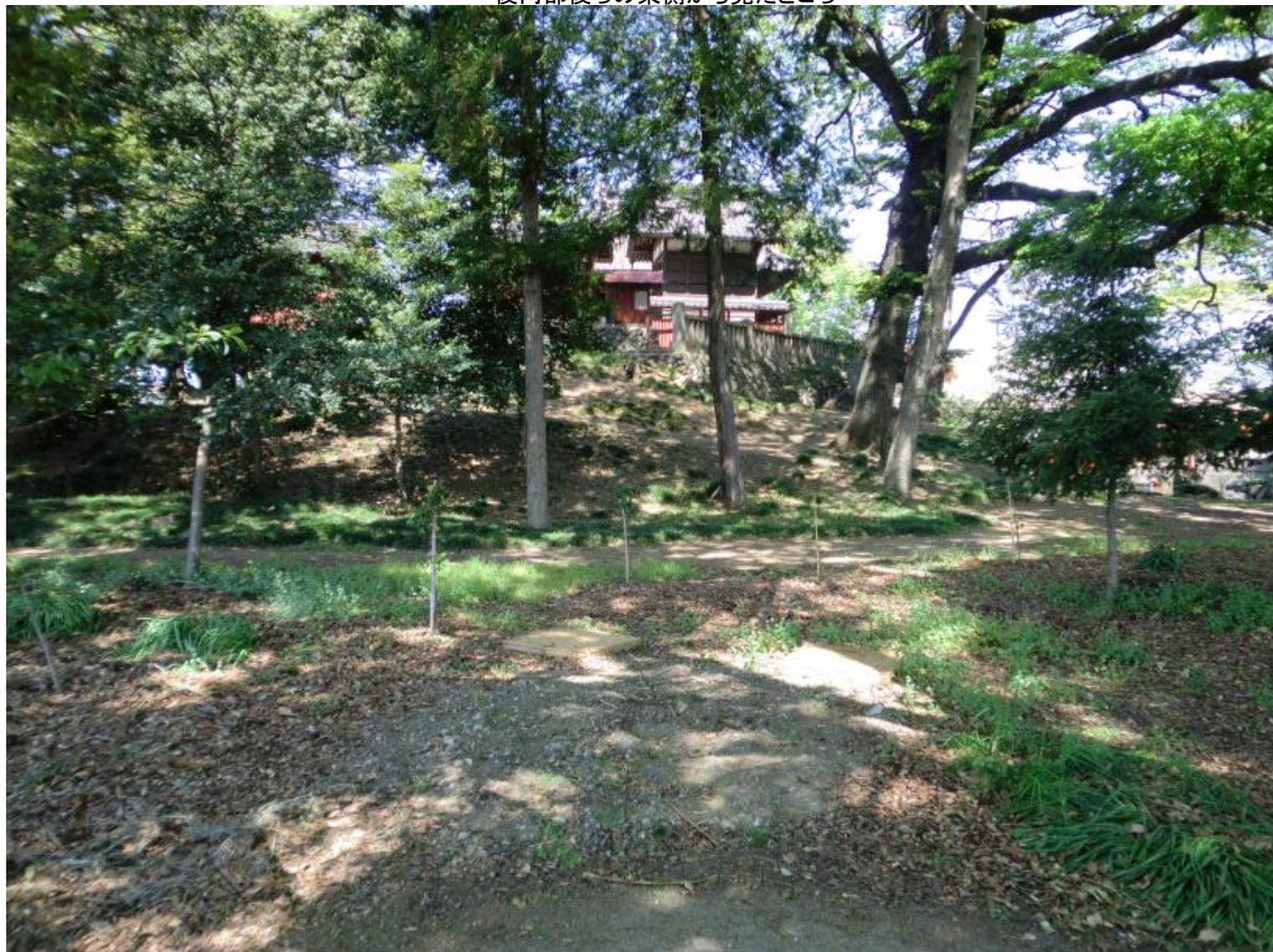
北東側から見たところ



後円部の後ろを見る/周堀が巡っていた雰囲気を感じられる



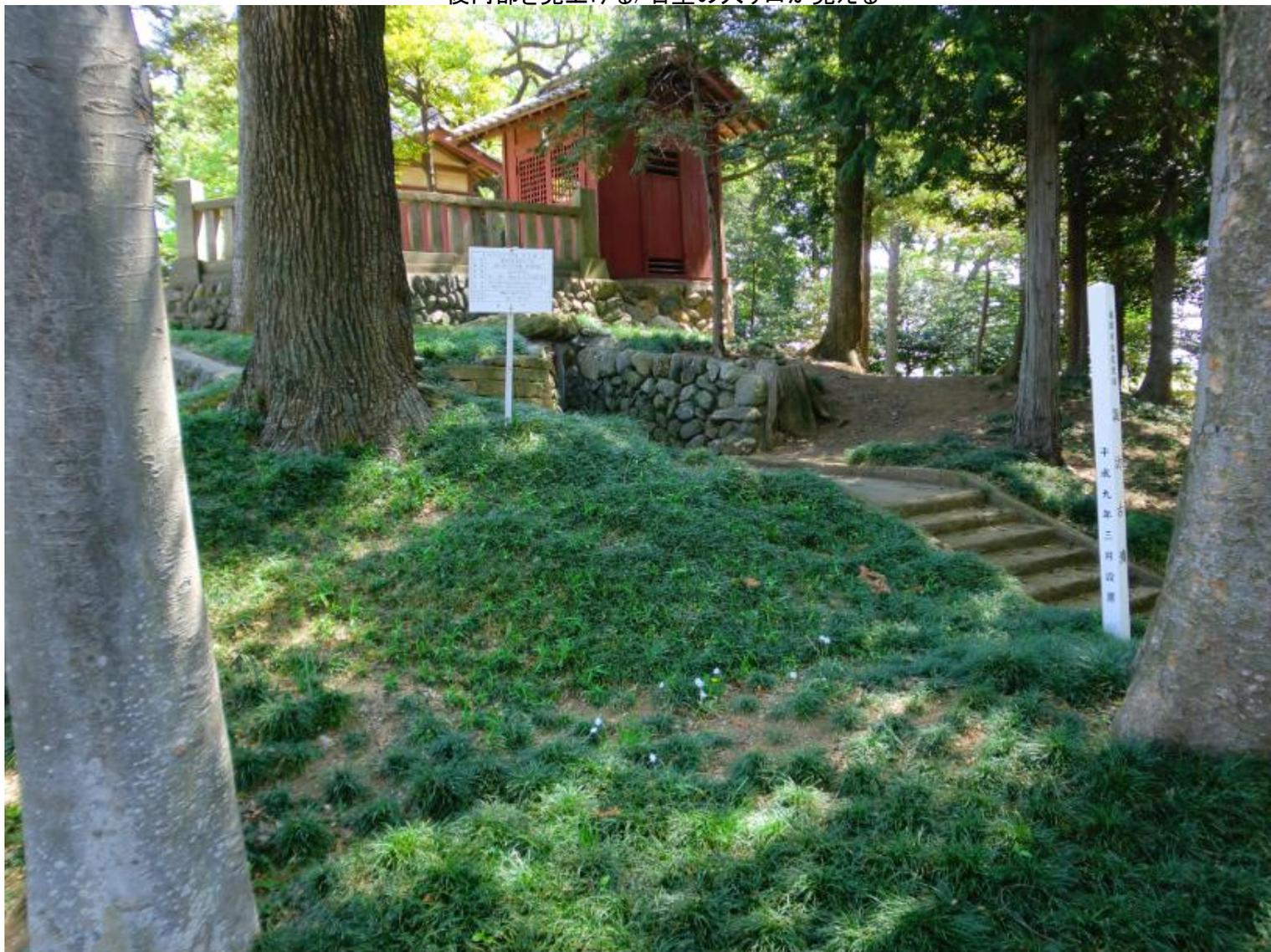
後円部後ろの東側から見たところ



南東側から後円部を見る/左手に説明板が立っている



後円部を見上げる/石室の入り口が見える



南西側から墳丘の全景を見たところ/左手が前方部、右手が石室のある後円部



墳頂に登ってみる/西側から見た社殿/これは拝殿/前方部近くに建っている



拝殿前を南側から北方向に見る



前方は社殿の後ろにある境内社/この辺り全体が後円部になる



後田部の辺りから前方部方向を見たところ



後円部辺りから社殿全体を見る/左手が前方部に近い拝殿、右手は後円部に近い本殿



さて、石室を見よう/説明板と標柱が立っている/標柱には「藤岡市指定史跡 諏訪古墳」と記されている



6世紀後半の築造と推定されている

諏訪古墳

所在地 藤岡市藤岡四九五

所有者 諏訪神社

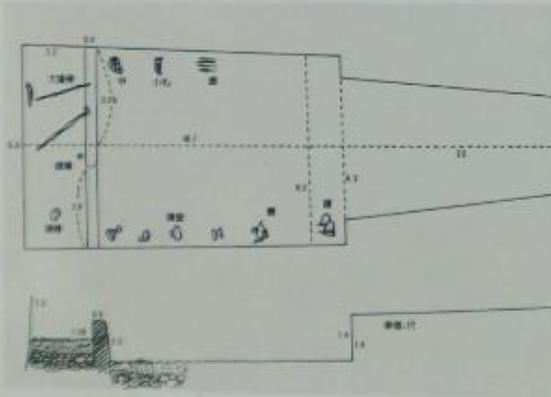
古墳は、全長五七メートル、後円部径二七メートル、高さ四メートルの前方後円墳で、墳頂部に諏訪神社社殿が建てられている。

明治三九年、柴田常恵氏により発掘調査が行われ、西南に開口する両袖型横穴式石室が確認された。石室は全長五・九メートルの切石積みで、玄室の奥に棺座を区画する間仕切り石、玄室入口には二石の框石が設置されている。石室内からは、人骨、銀環、単鳳環頭大刀・直刀・刀子・衝角付冑・挂甲小札・鉄鍬・弓弮金具・須恵器・馬具などが出土している。また、後円部北側から東側の墳丘にかけて埴輪（円筒・朝顔・鞞・鞆・人物）が出土している。石室の構造や出土品から六世紀後半に造られたと推定される。

藤岡市教育委員会



諏訪古墳石室



諏訪古墳石室内遺物出土状態
（『日本考古学選集12柴田常恵集』より）

石室を覗いてみる



切石積みの両袖型横穴式石室で玄室の奥に棺座を区画する間仕切り石が、玄室入口には二石の楣石が設置されている



棺座を区画する間仕切り石が見てとれる/玄室は羨道よりも一段下がっている



羨道前半までは自然石の乱尺積み



後半部分は凝灰岩の切石積/奥壁は巨大な鏡石



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huzioka_suwa/

<http://members3.jcom.home.ne.jp/yoshi-cp/gfhonngou.htm>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/fujioka/suwa.htm>

http://www.city.fujioka.gunma.jp/kakuka/f_bunkazai/suwakohun.html

<http://www13.atpages.jp/ootama/page027.html>

http://tigerdream.no-blog.jp/special/2012/11/post_5609.html

<http://obito1.web.fc2.com/fuziokahigasi.html>

<http://www.tg.rim.or.jp/~ewakim/kofun/fok/foswi.html>

<http://www.ipn-hayashi.com/cgi-bin/pidetail.cgi?mode=&title0=%90z%96K%8C%C3%95%AD&choice0=k1301070&printer=&photoview=07&index=1451&brower=99&column=24&font=20&screen=240&life=>

<http://kofunoheya.blog.fc2.com/blog-entry-1787.html>

<http://go29.boy.jp/kofun/kanto/?p=1405>

